

知れば知るほど 軽自動車

いいね!

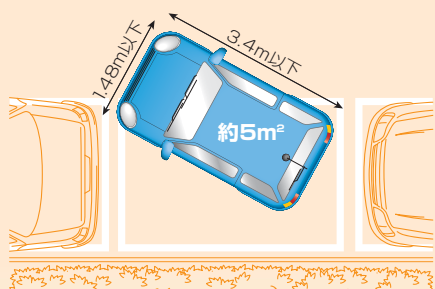
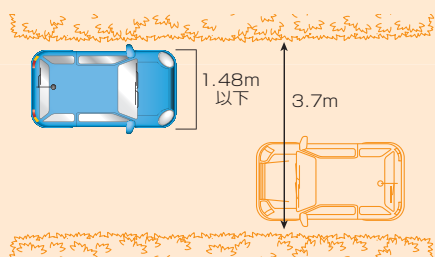


地方の街では交通を支える足として、
高齢者や女性にとっては暮らしの頼れる手段として、
さらには、環境思いのやさしい乗り物として。
いまや、社会になくてはならないライフラインともいえる軽自動車。
1949年に規格が制定されて以来、モータリゼーションを牽引し、
また、セカンドカーとしてひろく普及してきました。
コンパクト・省資源・経済的 —— 3拍子そろった軽自動車は、
これからも日本のクルマ社会の発展に向けて走り続けていきます。

「乗るなら、軽自動車」 選ばれているのは、なぜでしょう？



使いやすい から



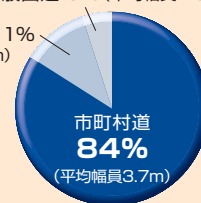
コンパクトで、狭い道もらくらく。

日本の道路の約84%は、市町村道。その道幅は平均3.7m*という狭さです。軽自動車の車幅は1.48m以下と小さいので、市街地の路地や農道もスムーズ。対向車とのすれ違いだって安心です。

※一般道路全体の平均幅員は4.2m

◆一般道路に占める市町村道の割合
一般国道 5% (平均幅員7.8m)

都道府県道 11%
(平均幅員6.0m)



資料：平成18年4月1日現在、「道路統計調査」国土交通省
※幅員は車道部のみ

省スペースで、縦列駐車もカンタン。

軽自動車の最小回転半径は、平均4.4m*。小回りがきいて、わずかなスペースでも駐車しやすいうれしさです。専有面積約5m²の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

※「自動車ガイドブック vol.53 2006～2007」(社)日本自動車工業会のカタログに掲載された軽乗用車の平均値

◆使いやすさからの選択理由

(複数回答)	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐停車がしやすい
軽乗用系	66%	57%	39%
軽キャブバン	56%	50%	38%
軽トラック	35%	64%	23%

資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会

経済的 だから

価格、燃費、税金、すべてにうれしい。

◆経済性からの選択理由

(複数回答)	税金が安い	燃費が良い	価格が安い
軽乗用系	83%	53%	46%
軽キャブバン	74%	46%	44%
軽トラック	59%	56%	56%

資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会

軽自動車はこうした特性を活かすことで、
地方の足として、そして毎日の生活に、環境に応えています。

地方で
活躍しています

生活に
密着しています

環境を
考えています

地方で活躍しています



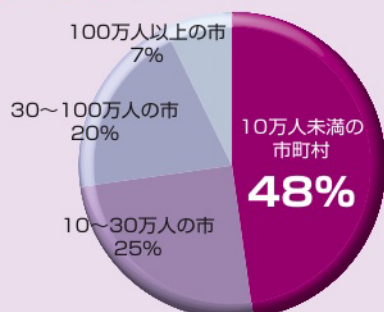
公共の交通機関が利用しにくい地域では大切な「日常生活の足」となっています。

軽自動車は、人口10万人未満の市町村で約半数が保有されています。
 こうした地域では、多くの軽自動車ユーザーが周辺の公共交通機関に不便を感じています。
 実際、軽自動車の普及率の高い県では鉄道営業キロ数が短く、
 軽自動車は公共交通機関が利用しにくい地域では欠かせない存在となっています。

軽自動車の都市規模別の保有台数比率

10万人未満の市町村で

約半数が保有されている

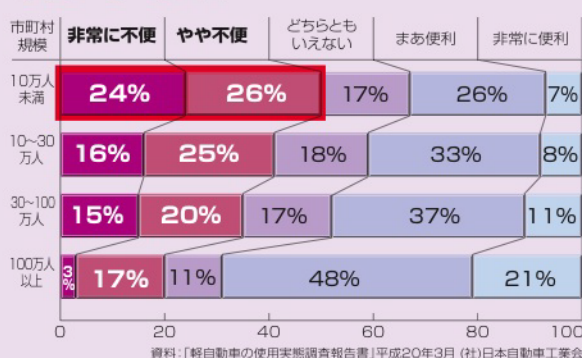


資料：保有台数は平成20年3月末現在、「市区町村別軽自動車両数」(社)全国軽自動車協会連合会
 人口は平成20年3月末現在、「住民基本台帳に基づく人口」総務省

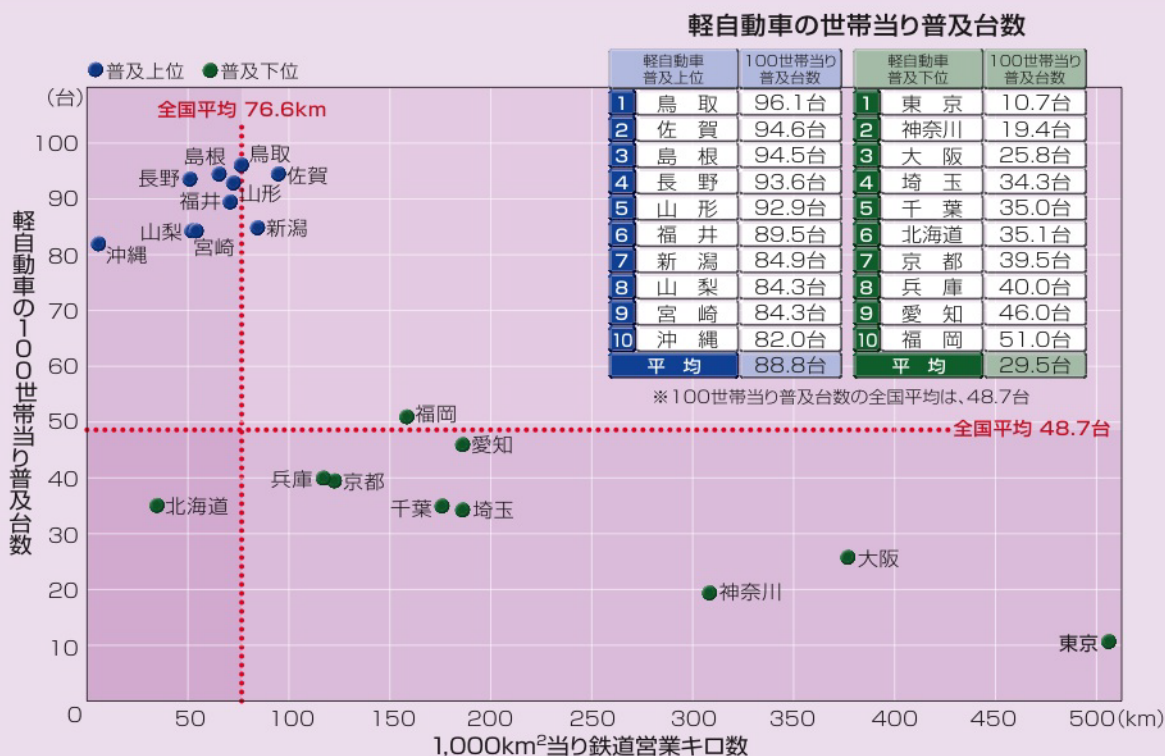
軽自動車ユーザーからみた公共交通の利便性

10万人未満の市町村で

約半数が不便だと感じている



軽自動車の普及と鉄道営業キロの関係



資料：100世帯当り普及台数は平成20年3月末現在、(社)全国軽自動車協会連合会調べ
 1,000km²当り鉄道営業キロ数は平成18年3月31日現在、地方運輸局調べ
 都道府県総面積は平成17年10月1日現在、国土地理院調べ



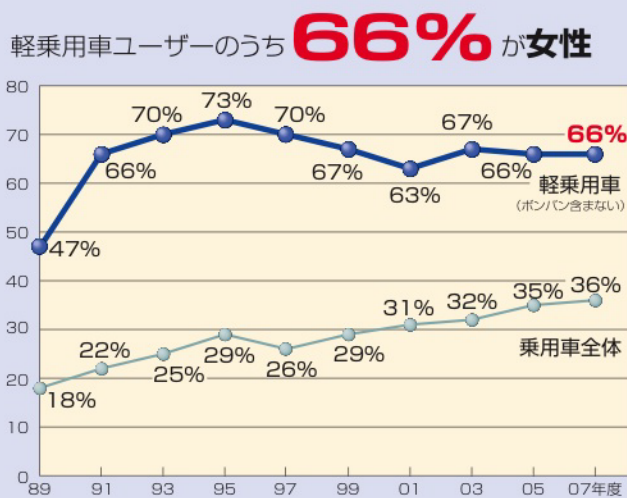
生活に密着しています

女性や高齢者にとって頼れる乗り物。毎日の暮らしや仕事を支えています。



軽乗用車ユーザーの3人に2人は女性で、乗用車全体に比べて圧倒的に高くなっています。しかも、女性ユーザーの実に80%以上が既婚女性です。また既婚女性の就業率が高い県ほど普及していることから、軽自動車は地方で働く女性にとって不可欠な移動手段と言えます。

女性ユーザー比率の推移



資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会
乗用車全体は「2007年度 乗用車市場動向調査」(社)日本自動車工業会(乗用車全体には軽乗用車を含む)

軽自動車の普及と既婚女性の就業率

軽普及上位10県の既婚女性就業率平均は

約 **57%** ※既婚女性就業率の全国平均は、47.9%

軽自動車普及上位	既婚女性就業率	軽自動車普及下位	既婚女性就業率
1 鳥取	59.2%	1 東京	43.3%
2 佐賀	56.3%	2 神奈川	42.1%
3 島根	58.4%	3 大阪	40.0%
4 長野	57.7%	4 埼玉	45.6%
5 山形	61.2%	5 千葉	44.5%
6 福井	61.9%	6 北海道	43.2%
7 新潟	58.0%	7 京都	45.9%
8 山梨	54.8%	8 兵庫	42.4%
9 宮崎	53.8%	9 愛知	50.2%
10 沖縄	45.0%	10 福岡	45.4%
平均	56.5%	平均	44.0%

資料：100世帯当たり普及台数は平成20年3月末現在、(社)全国軽自動車協会連合会調べ
既婚女性就業率は「平成17年 国勢調査」総務省

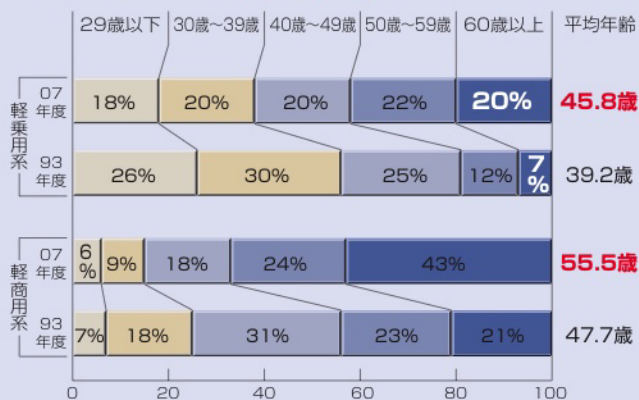


高齢化社会が進むなか、軽自動車ユーザーの高齢者比率も年々増加しています。とくに軽自動車が普及している地域では、65歳以上の方のいる世帯比率が40%以上も。高齢者にとってコンパクトで運転しやすい軽自動車の必要性は、ますます高まっています。

軽自動車ユーザーの年齢

軽乗用系ユーザーのうち **60歳以上**の

占める割合は約 **3倍** に増加



資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会

軽自動車の普及と高齢者のいる世帯比率

軽普及上位10県の65歳以上世帯比率平均は

43% ※65歳以上世帯比率の全国平均は、34.7%

軽自動車普及上位	65歳以上世帯比率	軽自動車普及下位	65歳以上世帯比率
1 鳥取	45.2%	1 東京	27.4%
2 佐賀	44.3%	2 神奈川	28.0%
3 島根	49.3%	3 大阪	31.3%
4 長野	43.6%	4 埼玉	29.8%
5 山形	51.5%	5 千葉	30.8%
6 福井	44.6%	6 北海道	33.3%
7 新潟	45.8%	7 京都	33.4%
8 山梨	40.1%	8 兵庫	35.3%
9 宮崎	39.3%	9 愛知	30.7%
10 沖縄	29.7%	10 福岡	33.2%
平均	43.0%	平均	30.5%

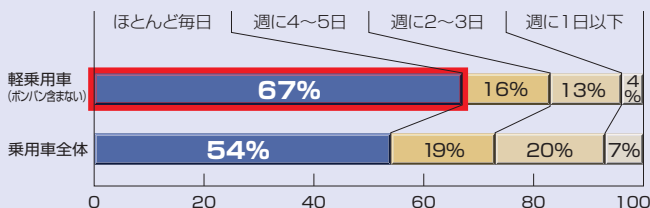
資料：100世帯当たり普及台数は平成20年3月末現在、(社)全国軽自動車協会連合会調べ
65歳以上世帯比率は「平成17年 国勢調査」総務省



軽乗用車ユーザーの多くは、ほとんど毎日、「買物・送迎」「通勤・通学」を主な用途として利用しています。
また軽自動車を保有している世帯では、その77%が他にもクルマを持っています。
その車種は普通・小型乗用車が多く、軽自動車はセカンドカーとしての役割に応え、手軽に使われています。

軽乗用車ユーザーの使用頻度

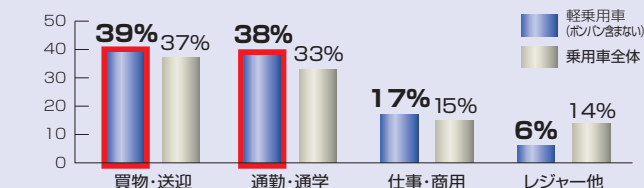
67%のユーザーがほとんど毎日使用



資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会
乗用車全体は「2007年度 乗用車市場動向調査」(社)日本自動車工業会(乗用車全体には軽乗用車を含む)

軽乗用車ユーザーの主な用途

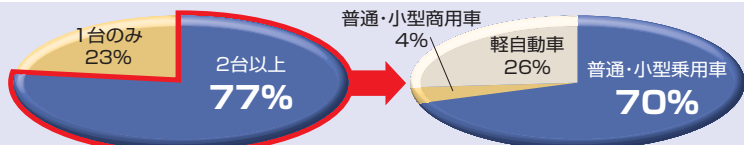
77%のユーザーが「買物・送迎」「通勤・通学」に使用



資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会
乗用車全体は「2007年度 乗用車市場動向調査」(社)日本自動車工業会(乗用車全体には軽乗用車を含む)

軽乗用系保有世帯での複数保有とその車種

77%の世帯が他にもクルマを保有
そのうち**70%**は普通・小型乗用車



資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会



商用車の総保有台数の大半を占める軽商用車は、個人商店や町工場、農家などで幅広く活躍しています。
その用途は「小口配送」「工場などへの足」「農作業」など、近距離での使用がほとんど。
また行動半径や月間走行距離を見ても、軽自動車は近距離でのフットワークのよさを発揮しており、仕事や商売の必需品として欠かせません。

軽商用車の保有台数比率

全商用車のうち

58%が軽自動車



資料：平成20年3月末現在、「自動車保有車両数」(財)自動車検査登録情報協会

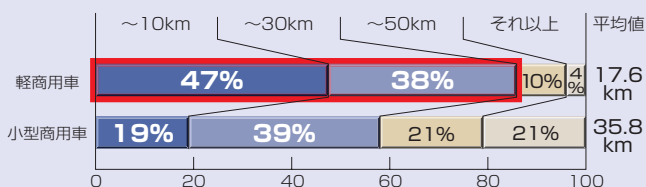
軽商用車の主な用途

(複数回答)	小口配送	工場等への足	営業活動	田畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	38%	25%	24%	16%
軽トラック	18%	21%	8%	56%

資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成20年3月 (社)日本自動車工業会

軽商用車の行動半径

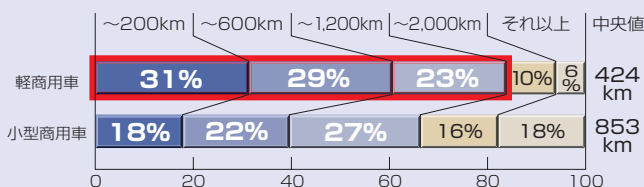
軽商用車ユーザーの**85%**が半径30km以内で行動



資料：「平成18年度 小型・軽トラック市場動向調査」平成19年3月 (社)日本自動車工業会

軽商用車の月間走行距離

軽商用車ユーザーの**83%**は月間走行距離が1,200km以内



資料：「平成18年度 小型・軽トラック市場動向調査」平成19年3月 (社)日本自動車工業会



環境を考えています



やさしさは乗る人にも、環境にも。
省資源・省エネルギーで貢献しています。

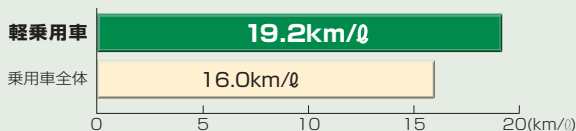
環境思い

660ccの小さな排気量で燃費がよく、
しかも少ない原材料で車両重量も軽い軽自動車。
省資源・省エネルギーで、環境への思いやりにあふれています。

平均燃費比較

軽乗用車の平均燃費は

1ℓあたり**19.2km**



資料: 06年度、自工会調べ(乗用車全体には軽乗用車を含む) ※国産車(日本車)のみでの算出

車両重量比較

軽乗用車の重量は

小型乗用車の約**70%**



※車両重量は軽乗用車と小型乗用車の代表的な車種による比較

道路にもやさしく

車両重量が軽い軽自動車は、
道路への負荷や損傷を極めて小さくします。

道路損傷度比較

軽乗用車の道路損傷度は

小型乗用車の約**1/3**

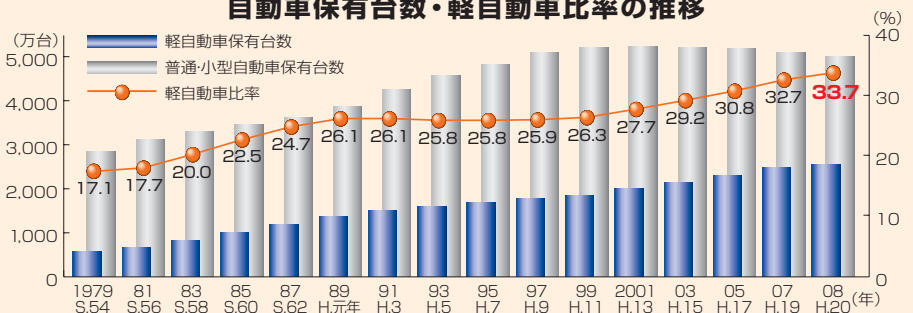
	軽乗用車 A車	小型乗用車 B車
車両重量	830kg	1,150kg
重量比	1	1.4
道路損傷度	1	3.4

※車両重量は軽乗用車と小型乗用車の代表的な車種による比較
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する
資料: 「舗装設計施工指針」(社)日本道路協会

軽自動車は、これからもクルマ社会の未来を担っていきます。

現在、保有台数が2,500万台を超えた軽自動車。自動車の総保有台数に占める割合は、3割に達しています。
人に、暮らしに、環境に…軽自動車はライフラインとして、ますます重要な役割を果たしていきます。

自動車保有台数・軽自動車比率の推移



資料: 各年3月末現在、「自動車保有車両数」(財)自動車検査登録情報協会

【参考】本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。

- ・軽乗用系: 軽乗用車、軽バン、軽ネットバン
- ・軽商用系: 軽キャブバン、軽キャブワゴン、軽トラック

発行 社団法人 全国軽自動車協会連合会

編集協力 スズキ株式会社・ダイハツ工業株式会社・日産自動車株式会社・富士重工業株式会社・
本田技研工業株式会社・マツダ株式会社・三菱自動車工業株式会社